

## 出産は必ず産科医療専門職の元で

公益社団法人日本助産師会では、産科医療専門職(医師または助産師)を意図的に避けて、ご夫婦やご家族だけで出産に臨み、思わぬ結果(新生児死亡、産婦多量出血など)に至ってしまったケースの報告を複数うけています。産科医療専門職が立ち会わない出産は非常に危険です。

順調と思われる経過にも、生命に関わる異常や急変の可能性が、誰にでもあり得るのが妊娠・出産の特徴だからです。

適切な緊急対応によって救える命があります。そのために助産師を始め産科医療専門職は、出産時の緊急事態に備えた知識や技術の習得に努めています。

妊産婦の皆さまに、必ず守っていただきたいことは

- ・妊婦健康診査を定期的に受けること
- ・必要時、医療機関の受診を受けること
- ・産科医療専門職(医師または助産師)による出産の介助を受けること

想いや望みを大切にしながらも、母と子2つの大切な命を守る安全に配慮した、もっともふさわしい出産のありかたを、身近にいる助産師と十分に話し合ってみてください。

母と子の命を守る準備が整ったなか、皆さまの温かく優しい心に、助産師をはじめとする専門家の手を添えて新しいいのちを迎えていきましょう。

2013年4月

公益社団法人日本助産師会  
安全対策委員会